

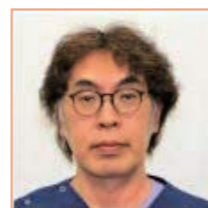
## 形成外科の医師紹介



診療部長  
宮内 律子  
(みやうち りつこ)  
【専門分野】  
形成外科全般  
再建外科



部長  
天野 信行  
(あまの のぶゆき)  
【専門分野】  
形成外科全般 / 熱傷  
顔面外傷 / 難治性創傷



部長  
諸岡 真  
(もろおか しん)  
【専門分野】  
形成外科全般



猪狩 紀子  
(いかりのりこ)  
【専門分野】  
形成外科全般



参与  
村上 隆一  
(むらかみ りゅういち)  
【専門分野】  
形成外科全般  
再建外科 / 熱傷

## 当院で治療を行っている主な疾患

難治性潰瘍・褥瘡、外傷（熱傷、顔面外傷など）、先天異常の疾患（唇裂・口蓋裂、小耳症、手足の先天異常）、腫瘍（皮膚、皮下の腫瘍、皮膚悪性腫瘍）、瘢痕・ケロイド、乳がん、頭頸部がん切除後の再建など幅広い疾患に対応しています。

## 手術実績（令和元年度）

| 疾患大分類        | 入院   |         |          | 外来   |         |          | 計   |
|--------------|------|---------|----------|------|---------|----------|-----|
|              | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 |     |
| 腫瘍           | 157  | 5       | 25       | 1    |         | 99       | 287 |
| 外傷           | 85   | 13      | 16       | 1    | 4       | 111      | 230 |
| 難治性潰瘍        | 80   | 5       | 22       |      | 1       | 8        | 116 |
| 先天異常         | 64   |         | 2        |      |         | 3        | 69  |
| 炎症・変性疾患      | 6    |         | 2        |      |         | 24       | 32  |
| その他          | 2    |         | 11       |      |         | 15       | 28  |
| 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 5    |         | 2        |      |         | 7        | 14  |
| 計            | 399  | 23      | 80       | 2    | 5       | 267      | 776 |

## 外来診療担当医表

下肢創傷ケアセンターへのご紹介は形成外科が担当となります。また、従来通り血管外科へご紹介頂いても構いません。形成外科と血管外科は集学的治療を行っていますので、柔軟な受入れ対応を可能としています。

|      |    | 月               | 火                          | 水    | 木               | 金                          |
|------|----|-----------------|----------------------------|------|-----------------|----------------------------|
| 形成外科 | 1診 | 宮内 律子           | 天野 信行                      |      | 村上 隆一           | 宮内 律子                      |
|      | 2診 | 村上 隆一<br>10:00～ | 諸岡 真 or<br>猪狩 紀子<br>10:00～ |      | 天野 信行<br>10:00～ | 諸岡 真 or<br>猪狩 紀子<br>10:00～ |
| 血管外科 | 1診 |                 | (新患)山下 修                   | 山下 修 |                 |                            |

地方独立行政法人 山口県立病院機構  
山口県立総合医療センター 地域医療連携室  
住所:〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地  
TEL:0835-22-5355 FAX:0835-22-5184

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center  
山口県立総合医療センター

# 形成外科からのご案内

～10月1日より下肢創傷ケアセンターを開設～



皮膚悪性腫瘍切除術 手術風景  
Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

## Message

当院形成外科は開設されてから47年と非常に歴史が長く、現在は常勤医師5名で治療にあたっており、外来患者は平均30～50人(日)、入院患者は15名～20名の受入れを行っています。手術は年間、全身麻酔、局所麻酔併せて約1000件を行っています。

外傷救急患者、熱傷患者については救急部、ICUと連携し、初期治療から専門的な処置まで継続して行っております。また、整形外科、形成外科、リハビリテーション科と連携し、各科の得意分野を活かして手の外科治療を行っています。さらに、乳腺外科と連携を図り、乳癌術後の乳房再建にも取り組んでいます。



診療部長  
宮内 律子

# 10月より 「下肢創傷ケアセンター」を開設。



カンファレンス  
実施風景

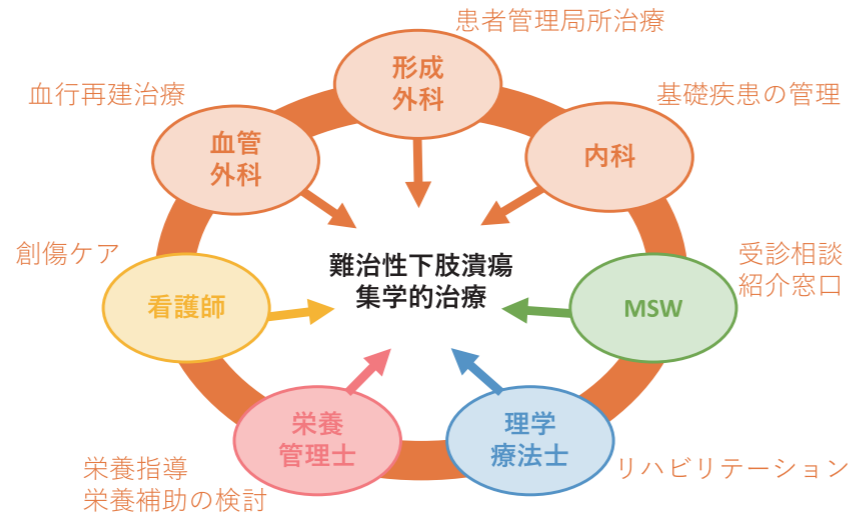
Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

多職種で連携して、  
これまで以上に充実した創傷治療が  
実現できるようにしていきます。

## 下肢創傷ケアセンターの特色

近年、高齢化に伴う基礎疾患（糖尿病、閉塞性動脈硬化症、静脈瘤）に併発した難治性下肢潰瘍が増えて  
います。複数の原因により傷が治りにくい場合が多く、多方面からの治療が必要となります。  
例えば、血流障害がある場合は、血管外科と共に治療を行い、糖尿病がある場合は内科と共に治療が必要と  
なります。

この「下肢創傷ケアセンター」を立ち上げたことにより、各科の連携をより緊密に  
図り、全身状態、合併症などを考慮しながら早期治療を行い、より良い集学的治療に  
寄与していきたいと考えています。さらに、症状を悪化させないように看護師、リハビリ  
、管理栄養士、MSWとのチーム医療を充実させることで、患者さんの生活の質を維持・向上を目指します。



## 下肢創傷ケアセンターの対象疾患

下肢（上肢）の創傷で特に以下の疾患を積極的に受け入れています。

- ① 閉塞性動脈硬化症に伴う下肢潰瘍
- ② 糖尿病性潰瘍、壊疽
- ③ 静脈不全に伴う潰瘍
- ④ その他（膠原病や血管炎）に伴う潰瘍

## 治療方法（血行再建術）と効果

糖尿病を合併している80歳男性の方の症例をご紹介します。

**手術前** → **血行再建術（血管内治療）** → **手術後**

左浅大腿動脈に閉塞病変を認める

閉塞部位を貫通させてステントを留置  
その後、バルーンカテーテルで病変部を拡張

閉塞部の解消

**治療前** → **治療直後** → **治療後1ヶ月経過**

- 左第2趾、第5趾に潰瘍が認められた。
- 血行再建術後、局所麻酔にて壊死組織を除去した。
- 開放療法を行った。
- 約1ヶ月で潰瘍が上皮化。

## 下肢創傷ケアセンターのメンバー紹介

|   |   |                                    |  |  |
|---|---|------------------------------------|--|--|
| <p>センター長</p> <p>形成外科<br/>宮内 律子<br/>みやうち りつこ</p> | <p>副センター長</p> <p>血管外科<br/>山下 修<br/>やました おさむ</p> | <p>内分泌内科<br/>井上 康<br/>いのうえ やすし</p> | <p>形成外科 病棟師長<br/>(糖尿病療養指導士)<br/>村上 隆一<br/>むらかみ りゅういち</p> | <p>形成外科 病棟師長<br/>(糖尿病療養指導士)<br/>村上 知子<br/>むらかみ ともこ</p> |
| <p>皮膚・排泄ケア<br/>認定看護師<br/>河島 史恵<br/>かわしま ふみえ</p> | <p>外来看護師<br/>山本 登喜子<br/>やまもと ときこ</p>            | <p>理学療法士<br/>藤井 一樹<br/>ふじい かずき</p> | <p>管理栄養士<br/>大谷 まどか<br/>おおたに まどか</p>                     | <p>MSW<br/>今徳 孝行<br/>いまとく たかゆき</p>                     |

## 患者さんのご紹介手順とその後の流れ

難治性下肢潰瘍の治療には悪化する前に適切な治療が不可欠です。お早めに当院の地域医療連携室  
にご相談ください。患者さんの症状に応じて、診療科の選定を行います。

